

にげ 歴民だより

第6号（平成25年10月）

発行：新座市立歴史民俗資料館
新座市片山一丁目21番25号
電話 048-481-0177
FAX 048-481-0149
Eメール rekimin@city.niiza.lg.jp



写真：今では数少なくなった自生のススキ（左）と、タカノハススキ（右）



写真：園庭で紅白の美を競う曼珠沙華（写真は白）

私たちの母なる星、地球から一番近いところにある身近な天体、「月」・・・。

今年の「中秋の名月」（十五夜）は9月19日でした。澄み渡った夜空に輝く「まんまるお月さま」は「名月」の名を冠するに相応しい美しさでした。3年続いて満月が続きましたが、残念なことに中秋の名月当夜の満月は、8年後の（平成33年）まで見られないとのこと。園庭では、お彼岸の風物詩、赤と白の曼珠沙華が満開！互いの美しさを競い合っています。

資料館トピックス（7月～9月）

★「白瀬中尉とわがまち新座」展が紹介されました！



写真：展示の様子

「読売新聞埼玉版」や「埼玉新聞」に取り上げられ話題となった「白瀬中尉とわがまち新座」展が、「週刊新潮」（8月29日秋風増大号）と白瀬中尉の郷里である秋田県の地方紙、「秋田魁（さきがけ）新報」にも紹介されました！

いつでもご覧いただけますので、お近くにお越しの際は、どうぞお気軽にお立ち寄りください！

★「夏休み子ども歴史講座」を開催しました！

8月21日（水）に恒例の「夏休み子ども歴史講座」が開催され、連日の記録的な猛暑の中、無事に終了することができました。

バスによる移動学習に参加した子どもたちは、野火止用水の源流で玉川上水の取水口になっている東京都羽村市の「羽村取水堰」や「羽村市郷土博物館」を見学し、説明を聞く中で野火止用水について種々学びました。また帰途は、玉川上水から野火止用水への分水岐点となる小平監視所に立ち寄り、野火止用水の源流を目の当たりにして、さらに興味をもたれた様子が見られました。



写真：羽村市郷土博物館にて

★「市内文化財めぐり～片山周辺を訪ねて～」を開催しました！



写真：法台寺境内にて

6月の“大和田周辺の文化財めぐり”に引き続いて、9月21日（土）に“片山周辺の文化財めぐり”を実施しました。

昭和30年の合併までは、片山村と大和田町がそれぞれ独自の歴史・文化があり、地域性も異なっていたようです。

その地域性を物語る貴重な文化財を、市学芸員のガイドにより2時間のコースで巡りました。皆、少々疲れ気味でしたが、片山の古刹「法台寺」の板碑群や湧き水と伝説で知られる「妙音沢」をはじめ、身近なところに眠る文化財にも出会うことができ、一同改めて郷土の歴史の奥深さを知ることとなり、認識を新たにされた様子でした。



「歴民の集い」開催のお知らせ



11月3日（日）「文化の日」に第2回「歴民の集い」を開催します！

レプリカ甲冑の着用体験や歴史講座に加え、今年は「にいざ歴史文化財研究会」会員の協力による市内の文化財の写真展など、盛りだくさんの内容です！

プログラム※申し込み順：直接、または電話で、10月1日（火）から受付開始します。

○午前の部 「歴民に武者再び!？」（定員20名・申し込み順）

日本独自の進化を遂げた甲冑の簡単な解説の後、当世具足（レプリカ）の着用体験を楽しんで頂きます。

○午後の部 「江戸庶民の暮らしと武蔵野新田開発」（定員40名・申し込み順）

講師：日本大学准教授 鍋本 由徳 氏

武蔵野新田の開発を背景に、江戸時代に生きた庶民の暮らしを振り返ります。

◆同時開催◆ ～「郷土の文化財」写真展～（11月17日まで開催：申し込み不要）

観光ガイドとして、また資料館ガイドボランティアとして活躍されている「にいざ歴史文化財研究会」の方々が失われつつある文化財を記録した写真を展示します。

探しています！

～常設展「昭和の暮らし」展示品の充実にご協力ください！～

平成24年度から「昭和の暮らし」の常設展示を実施していますが、残念なことに次の品物が収蔵されておらず、引き続き皆さんの寄贈を募っております。

①湯たんぽ（陶器製） ②七輪 ③蠅帳（食卓用の蚊帳） ④自在かぎ（囲炉裏に吊るもの）

ご協力いただける方は、事前に歴史民俗資料館にご連絡ください。お待ちしております！